長野市民新聞
10月5日（火）
長野市民新聞社
編集・管理
編集制作センター
〒380-0943 長野市安茂里 1029-1
フリーダイヤル
0120-06-5511
TEL 223-5511 FAX 223-5500
shiminm@avis.ne.jp
南長野支社
〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 1295-1
TEL 299-5988 FAX 299-5977
minamis@grn.janis.or.jp
広告

若槻に再び入浴施設

旧老人憩の家を活用

元職員らの民間団体 高齢者以外も利用可

老朽化などを理由に長野市が3月に廃止した「若槻老人憩（いこい）の家」＝田中＝の建物を、元職員らでつくる民間団体が借り、主に地元住民向けの入浴施設「若槻・あじさいの湯」として1日にオープンした。介護保険の要支援者や一人暮らし高齢者を対象にした集いなども計画。介護予防や地域の健康づくりの拠点を目指す。

若槻・あじさいの湯は、市が耐震補強や改修をした鉄骨造平屋（延べ床面積約400平方㍍）を同法人が有償で借りた。地元の湧き水を加熱して使う男女別の浴室と、大広間、和室などがある。男女とも浴室は洗い場が4人分、浴槽は最大6人が入れるスペース

しかないため、
元住民の利用
ているという。
老人憩の家の
象は60歳以上
が、新施設で
限を設けてい
館時間は午前
後8時で、新
も営業する。

旧老人憩の家の建物に開業した「若槻・あじさいの湯」

長沼で台風災害2年の催し

子供らラリー楽し

長沼地区住民自治協議会などは3日、19（令和元）年の台風19号災害から2周年の催し「追悼・復興・感謝のつどい」を市長沼支所仮設庁舎一帯で開いた。被災後に地区外で

500人ほど
式典やウオー
などに参加。
ぶりの再会を
式典で、同
山崎里司会長
人にも希望を
み続けられる

ウオークラリーを楽しむ参

少年の主張県大会

髙野さん（桜ヶ岡中3年生）優秀賞

賞状
優秀賞
髙野愛梨様
あなたは令和三年度少年の主張長野県大会において頭書の成績を収めたのでこれを賞します
令和三年九月十七日
[illegible]
会長 阿部守一

賞状を掲げる髙野さん

20年前の自伝で亡き祖父と〝対話〟

桜ケ岡中学校3年生の髙野愛梨さん（15）は、9月17日に動画審査による本年度の「少年の主張県大会」（県など主催）で、最高賞に次ぐ優秀賞を受けた。県立高校の校長だった祖父が約20年前に出版した自伝を読み、文字を通じて亡き祖父と対話した経験を振り返り、読書が人生をより豊かにすると訴えた。

髙野さんは、祖父の自伝に学校の方針や生徒の意識を変えていった過程が記されていたと紹介し、「当時の気持ちや、大変だったことなどを祖父に尋ねたくなった」と感想。「読み終えたときに、読書は文字を通して筆者と対話することと感じた」と述べた。

その上で、「意識せ

る」メールやSNS（会員制交流サイト）に対し、本は「自らをアピールせず、読み手との対話を静かに待っている」と説明。「本の『見えない声』に耳を澄ませられるようになりたい」と主張した。

作文作成後、8月初旬から発表を練習。声や表情の抑揚などに気を配ったという。受賞については「県知事賞に届かず悔しいが、今回の経験は今後の人生の糧になると思う」と話していた。

県大会は例年、出場者が一堂に介して発表するが、今年は新型コロナ感染拡大防止のため、初の動画審査を導入。書類審査を通過した入賞者11人の発表動画を審査した。市内からは入賞者は、他にいなかった。

横断歩道 渡り方学ぶ

山王小でイベント アーティストら指導

横断歩道での手の上げ方を練習する児童ら

山王小学校で9月30日、音楽グループ「19」の元メンバーでポップアーティストの「326（ミツル）」こと中村満さん（43）らによる交通安全イベントがあった。小学生のうちから交通ルールやマナーを身に付ける狙いで、公益財団法人「交通安全振興機構」＝本部・東京都＝が初めて企画。長野市内の小学校から参加校を公募し、抽選で選ばれた同校の1～3年生97人が楽しみながら学んだ。

中村さんは、同振興機構のイラストデザインを手掛けた縁で講師を務めた。市地域活動支援課の市交通安全教育講師と一緒に、児童に横断歩道での手の上げ方や渡り方などを指導した。

「横断歩道では運転手が車を止めるまで待つ」と教わった2年生の掛川栞さん（8）は「運転手がよそ見をしてヒューっと行ってしまうのが一番怖い」と気を引き締めていた。

同校の全校児童には、中村さんがデザインした反射材ステッカーが配布された。同振興機構は今後、希望する全国の小学校を対象に同様のイベントを年1回程度開く計画。抽選に外れた5小学校には、今回録画したイベントの映像を提供するという。

交通安全功労者を表彰伝達

15人に緑十字銅章

中央署

表彰状を受け取る受章者

長野中央署で9月30日、長年にわたり交通安全活動に尽力した人に全日本交通安全協会が贈る交通栄誉章「緑十字銅章」の表彰伝達式が開かれた。交通安全協会員など対象者15人のうち、11人が出席して表彰状を受け取った。

權堂地区で約50年にわたり啓発活動に取り組み、交通安全功労者として表彰された長野安協第三支部の瀧澤清一さん（84）＝居町＝は「受章を励みにこれからも交通安全啓発に努めたい」と語った。

受章者は次の通り（かっこ内は所属）。

【長野交通安全協会】◇交通安全功労者 瀧澤清一（第三支部）、西澤和雄（長沼支部）、杉原利治（浅川支部）、水内喜一（同）、竹元利子（同）、小田切善明（信州新町支部）◇優良運転者 芝田正人（第三支部）、清水利保（小川支部）、神田久恵（長電バス支部）、橋本勝工（同）、瀧澤和雄（同）

【県安全運転管理者協会長野支部】◇優良安全運転管理者 新保隆文（NiKKi Fron）、長谷一浩（宮下）、戸井田学（セキスイハイム信越東北信支店）◇優良運転者 増田善行（県農業共済組合北信支所）

純米酒 信州の地酒 本老の松 モトオイノマツ
株式会社東飯田酒造店 長野市篠ノ井小松原1724

朝陽公民館で演奏会

クラシックやアニメの曲披露

クラシックやアニメ曲を披露する外山さんと山中さん

朝陽公民館は9月29日、毎年恒例の「秋のコンサート」を同館体育館で開いた。長野市内外で活動する音楽グループ「Oto Project（オト・プロジェクト）」の2人が出演してチェロとピアノのアンサンブルを披露。子供からお年寄りまで63人が楽しんだ。

同プロジェクトは、チェロ奏者の外山賀野（かの）さん＝飯綱町＝が主宰するグループで、イベントごとに編成を変えながら活動している。今回は、外山さんと、ピアノ奏者の山中和子さん＝信濃町＝の2人が出演。「アヴェ・マリア」「愛の讃歌」といったクラシック曲や、子供向けのアニメ映画の曲など計20曲を演奏した。

コンサートを企画した同館職員の新村聖命（きよみ）さんは「コロナ禍で生演奏を聴く機会が少なくなっている。来場した皆さんが楽しそうで良かった」と話していた。

実印・銀行印・会社印

CamScannerでスキャン